

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により運営する。

2. フィールド種目（走高跳を除く）は、トップ8方式の試技とする。

3. 招集について

- (1) 選手は出場種目の招集完了時刻には必ず招集所にいること。
- (2) 競技者係の指示に従い、ナンバーカード、腰ナンバーカード、スパイクシューズ等の点検を受けること。
- (3) 代理人は認めないが、トラック競技とフィールド競技にまたがって同時刻に出場する選手は代理人をもって招集に応じ、代理人はその旨を競技者係に申し出ること。また、競技については本人がフィールド審判に申し出、リレーの方を先に行うこと。
- (4) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなして取り扱う。
- (5) 招集は下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の20分前
フィールド	競技開始時刻の50分前	競技開始時刻の40分前

(6) 選手の招集は、100mスタート地点付近（A倉庫前）で行う。

(7) リレーのオーダーについては、招集用紙に走順番を記入すること。

4. ナンバーカードは、各自登録番号のナンバーカードをユニフォームにつけること。

トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で競技者係から受け取り、パンツの右側後方につける。

5. 制限タイムを設定する種目は次の通りとし、それまでにゴールできない場合は失格とする。

種目名	男5000m	中男・高一女3000m
制限タイム	20分	15分

6. 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。

練習

男走高	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	以降3cmきざみ
女走高	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以降3cmきざみ

小学生の競技開始高さについては、競技者の申告を考慮して競技審判が決定する。

7. 使用するスパイクピンは、9mm以下の平行ピンとする。（ただし、走高跳においては12mm以下とする）

8. 表彰について

各種目上位3位まで賞状を、優勝者には記念メダルを授与する。

9. 小学生の部参加者については下記の競技方法を遵守すること。

- (1) 小学生もスパイクの使用を認める。裸足での競技出場は禁止とする。

- (2) 走高跳の背面跳び・ベリーロールは禁止とする。(マットへの着地は足の裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。)
- (3) スタート方法は、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- (4) トラック競技のスタートにおける失格については、同じ競技者が2回不正スタートをした時、その競技者を失格とする。
- (5) リレーに4名で申し込んだチームが、当日4名に満たない場合は選手の補充は出来ない。
- (6) ジャベリックボール投げはやり投げピットを使用し、助走は15m以内とする。

10. その他

- (1) 選手といえども自分が出場している時以外は、応援または付添いのために競技場内に立ち入らないこと。
- (2) 本部前は通行禁止とするので、許可された者(補助員)以外は通らないこと。
- (3) スタンド等における各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。
- (4) ゴミは各学校、各自で持ち帰ること。
- (5) 用器具は競技場のものを使用すること。